

■EXトラック01

(状況…夢とも現実ともつかない、不思議な空間で、二人きり。サトリの愛の告白)

(SE…コオオオオ…風の音、何もない空間)

(位置…右・近)

(演技…二人きりなので、嬉しそうにしているサトリ)

ご主人様……♡

いま、二人きりです……♡

誰にも邪魔されない、この場所で、私たちだけ……♡

(位置…右・密着)

(演技…息を吹きかける)

ふー……♡

(演技…甘く囁きかける)

聞こえますか？ 私の吐息♡

ドキドキしている、この私の気持ち、伝わってきますか？

ご主人様のもとへ派遣されて、初めてお会いしたときから、

私、ずっと……ご主人様のことが……好きなんです♡

(位置…左・密着)

(演技…甘く囁きかける)

ううん、好きなんて言葉じゃ、この気持ちは説明できません。

(演技…胸の奥から想いを絞り出すように、愛の告白)

愛してる……♡ 愛しています♡

ご主人様のこと、心の底から、愛しています♡

この世界で一番……特別に……愛しています♡

(位置…右・密着)

(演技…甘く囁きかける)

本当に、感謝しないと、ですね。

ご主人様とこうして出会えたことに。

そして、ご主人様がこの世界に生まれてきたということに……
ありがとうございます、私と会うために、生きていてくれて♡

(位置…左・密着)

(演技…甘く囁きかける)

うふふ♡ 幸せ……♡

こうして、二人で、ギュッて抱き合って、静かに語り合って……♡

ご主人様の息づかい、鼓動、それが全部伝わってきて……♡
愛しい……♡ 愛しいです……♡

(演技…息を吹きかける)

ふー……♡ ふー……♡

(位置…右・密着)

(演技…甘く囁きかける)

私、ただの家政婦で終わりたくない……♡

ご主人様と、いつまでも、ずっと一緒に幸せに過ごしたいです♡
いつまでも、いつまでも、永遠(とわ)に……♡

(演技…耳元にキスをする)

ちゅ♡

(演技…甘く囁きかける)

今回は、エッチなしで……♡

こうやって、二人きりの時間を、ゆっくり楽しみたい♡

(位置…左・密着)

(演技…ふと尋ねる)

ご主人様？

ご主人様は、子どもは何人欲しいですか？

うふふ、私は、三人くらい♡

女の子が二人に、男の子一人、が理想です♡

(演技…ピンと来ていない様子のご主人様に、微笑みながら)

え？ もちろん、私とご主人様の子どもですよ♡

私、本気ですから♡

本気でご主人様のことを愛しているんです♡

だから、赤ちゃんも欲しい……♡

欲しいんです♡

ご主人様の子ども、きっと、とても可愛いと思うんです♡

(位置…右・密着)

(演技…耳元にキスをして、甘く語りかける)

ちゅ♡ んちゅ♡

ご主人様♡ これからいっぱい、子どもを作っていきたい♡

たくさんラブラブして♡ たくさんエッチして♡

たくさん愛し合って♡

(演技…エロティックに囁きかける)

いっぱいご主人様の子種を注いでもらって……♡

どんどん、二人の間に子どもを作りましょうね♡

私、一所懸命、愛情込めて育てますから……♡

(位置…左・密着)

(演技…甘く囁きかける)

ふふ、嬉しいです♡

こんなに、未来が楽しみに感じられることは、いままで無かったから……♡

この仕事はもちろん大好きですけど、それとは別に、

全裸家政婦をやっていてよかった、って思ってます♡

ありがとうございます、こんなに、私のことを幸せにしてくれて……♡

(位置…右・密着)

(演技…甘く囁きかける)

ご主人様……♡

ずっと、ずっと、私のことを、可愛がってくださいね……♡

私も、ご主人様に、末永くお仕えますから……♡

(演技…興奮気味の吐息をつきながら、また愛を囁く)

はあ……♡ はあ……♡

愛しています……♡ ご主人様……♡

(演技…吐息とともにフェードアウト)

んっ……♡ はあ……♡ ふはああ……♡

■EXトラック02

(状況…夢とも現実ともつかない、不思議な空間で、二人きり。マキの愛の告白)

(SE…コオオオオ……風の音、何もない空間)

(位置…左・近)

(演技…クールでありながら、ちよつとドキドキしている気持ちが表れている、弾んだ声)

ご主人様。

いま、周りに誰もいませんね。

サトリもないから……私たちだけ……

(SE…ガバツ、と抱きつく音)

(位置…左・密着)

(演技…耳元に甘く囁きかける)

ん……♡

ご主人様のこと、独占です……。

いまこの瞬間は、誰にも渡さない……。

私だけのものです、ご主人様……。

(演技…うっとりとした声を上げ、幸せそうにしている)

はああん……♡

ご主人様、いまだけは、私だけのことを見つけていてください……♡

私とご主人様、二人きりの時間……

この時間は、誰にも渡しません……たとえ相手が神様でも……

(演技…耳元に息を吹きかけるイタズラ)

ふー……ふー……

ふふふ、耳に息、吹きかけられるの、好きですか？

(位置…右・密着)

(演技…右耳にも、耳元に息を吹きかけるイタズラ)

こっちの耳にも、してあげましょうか？
ふー……ふー……

（演技…耳元に甘く囁きかける）

ご主人様……♡

なぜ、ご主人様は、そんなに素敵なのですか……？
いままで、色々な方にお仕えしてきましたが、ご主人様のような方は、初めてです……
私の人生において、唯一無二の存在……
他の誰でも埋められない、大切な人……
私は、そんなご主人様と、いつまでも一緒に生きていきたいです……

（位置…左・密着）

（演技…耳元に甘く囁きかける）

いまの、言葉の意味、わかってくれますか……？

（演技…照れながら、恥ずかしそうに、どもる）

ご、ご主人様のこと……そ、その、私……私……
ううう、いざ、言うとなると、恥ずかしくて、言いにくいですね……
ものすごく、胸がドキドキして、心臓が飛び出しそうなほど緊張して、
言いたいことも、素直に言えないです……

（演技…愛の告白）

ご主人様……

私……あの……ご主人様のこと……
す……好き……です……

（演技…ご主人様に「よく聞こえなかった」と言われて）

え？ よく聞こえなかったから、もう一度？
うゝ……！

二度も言わせるなんて、鬼ですか……！

(位置…右・密着)

(演技…耳元に甘く囁きかける)

じゃあ、もう一度、伝えますね……

今度はちゃんとよく聞いていてください……

私が、こんなこと誰かに言うの、初めてなんですから……

(演技…緊張しながら、もう一度、愛の告白をする)

す、好きです……

ご主人様のこと、大好き……

(位置…左・密着)

(演技…耳元に甘く囁きかける)

愛してしまっただけ……

どうしようもなく、愛して……

もう、頭の中は、ご主人様のことばっかりなんです……

(位置…右・密着)

(演技…耳元に甘く囁きかける)

いつものご主人様の笑顔……

エッチをしているときの、喘ぎ声……

口の中に出されたときの精液のニオイ……

そういうものを思い出す度に、どんどん、心がポカポカして……

愛しくて、愛しくて……

永遠に、この時間が続けばいいって、そんな風に思うんです……

(位置…左・密着)

(演技…耳元に甘く囁きかける)

だから、お願いします……

ずっと、ずっと、私と一緒にいてください……

もう、ただの家政婦とご主人様、の関係だけでは満足できないんです……

(位置…右・密着)

(演技…耳元に甘く囁きかける)

私だけの特別なご主人様になってください……♡

私も、あなただけの特別な家政婦になりますから……♡

(位置…左・密着)

(演技…耳元に甘く囁きかける)

いつまでも、いつまでも、愛しています……♡

これからも末永く、よろしくお願いしますね……♡

私の大事なご主人様……♡

(演技…吐息、そしてフェードアウト)

はあ……♡ ん……♡ ふう……♡